

第6章 障害のある人の人権について

(1) 障害のある人に関する人権の問題

問 15. 障害のある人に関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇印はいくつでも)

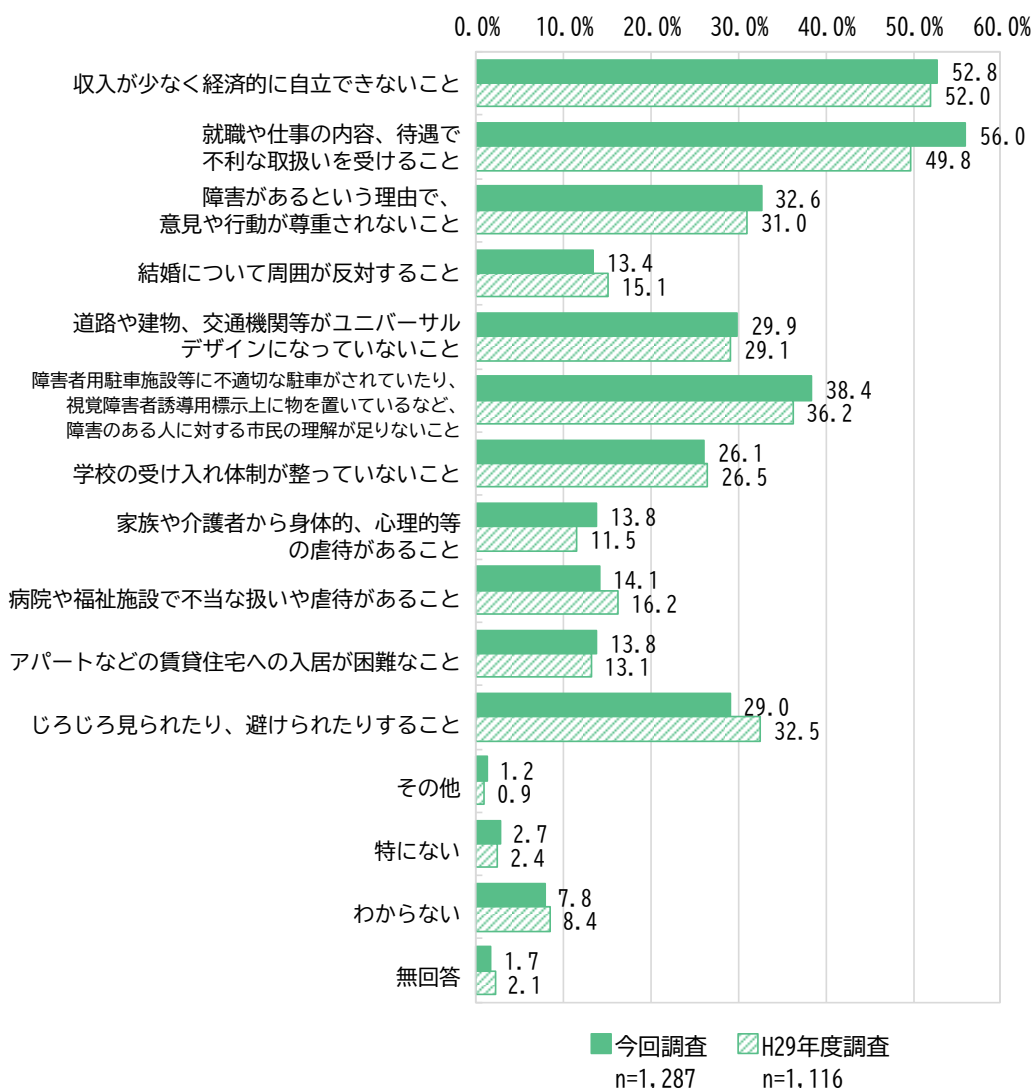
➤ 全体

「就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けること」が 56.0%で最も多く、次いで「収入が少なく経済的に自立できないこと」が 52.8%、「障害者用駐車施設等に不適切な駐車がされていたり、視覚障害者誘導用標示上に物を置いているなど、障害のある人に対する市民の理解が足りないこと」が 38.4%となっています。

➤ 平成 29 年度調査との比較

今回の調査では、「就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けること」が平成 29 年度調査よりも多くなっています。

図 6-1 障害のある人に関する人権の問題



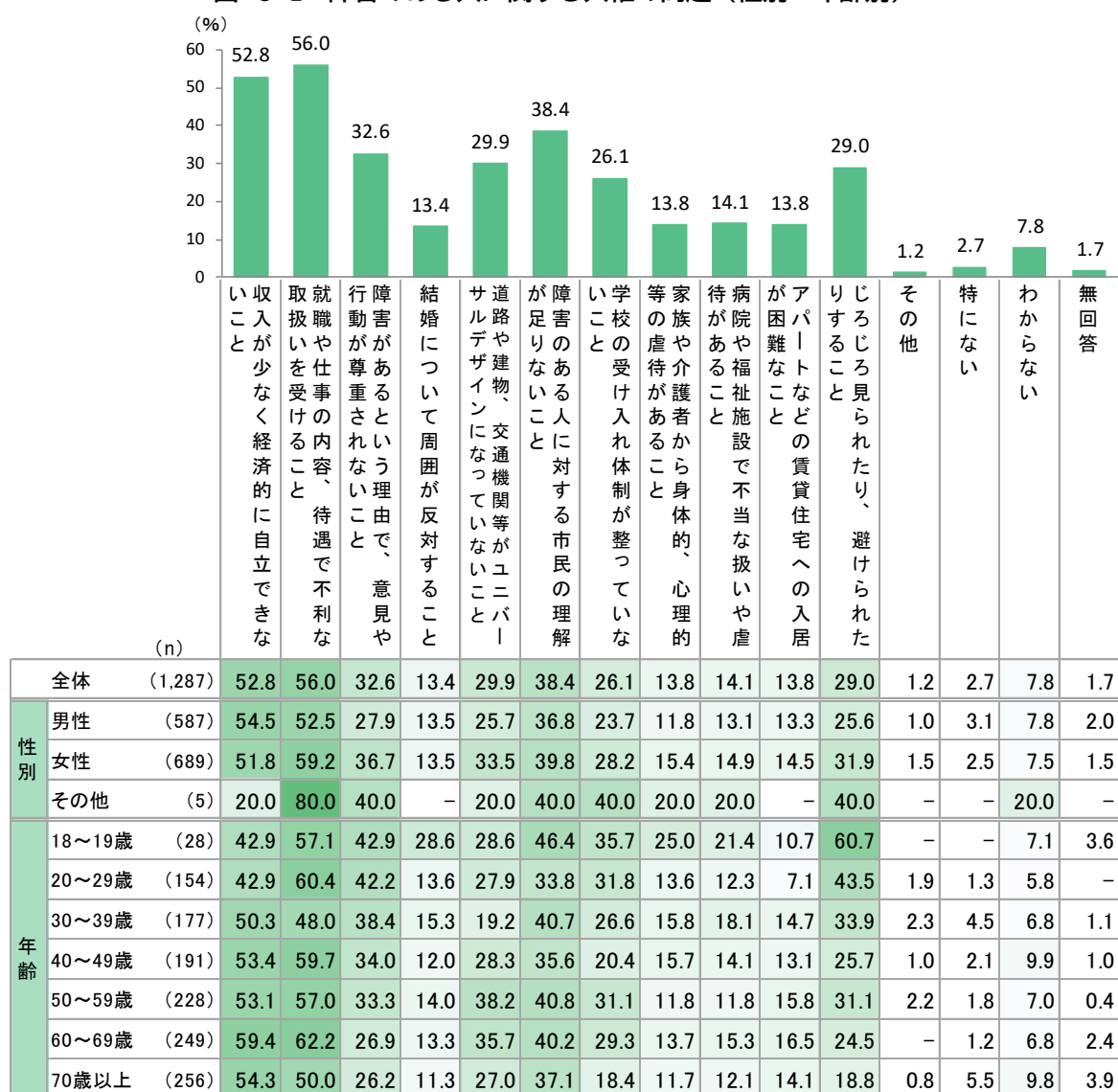
➤ 性別

“女性”で「障害があるという理由で、意見や行動が尊重されないこと」が36.7%、「道路や建物、交通機関等がユニバーサルデザインになっていないこと」が33.5%と、“男性”より多くなっています。

➤ 年齢別

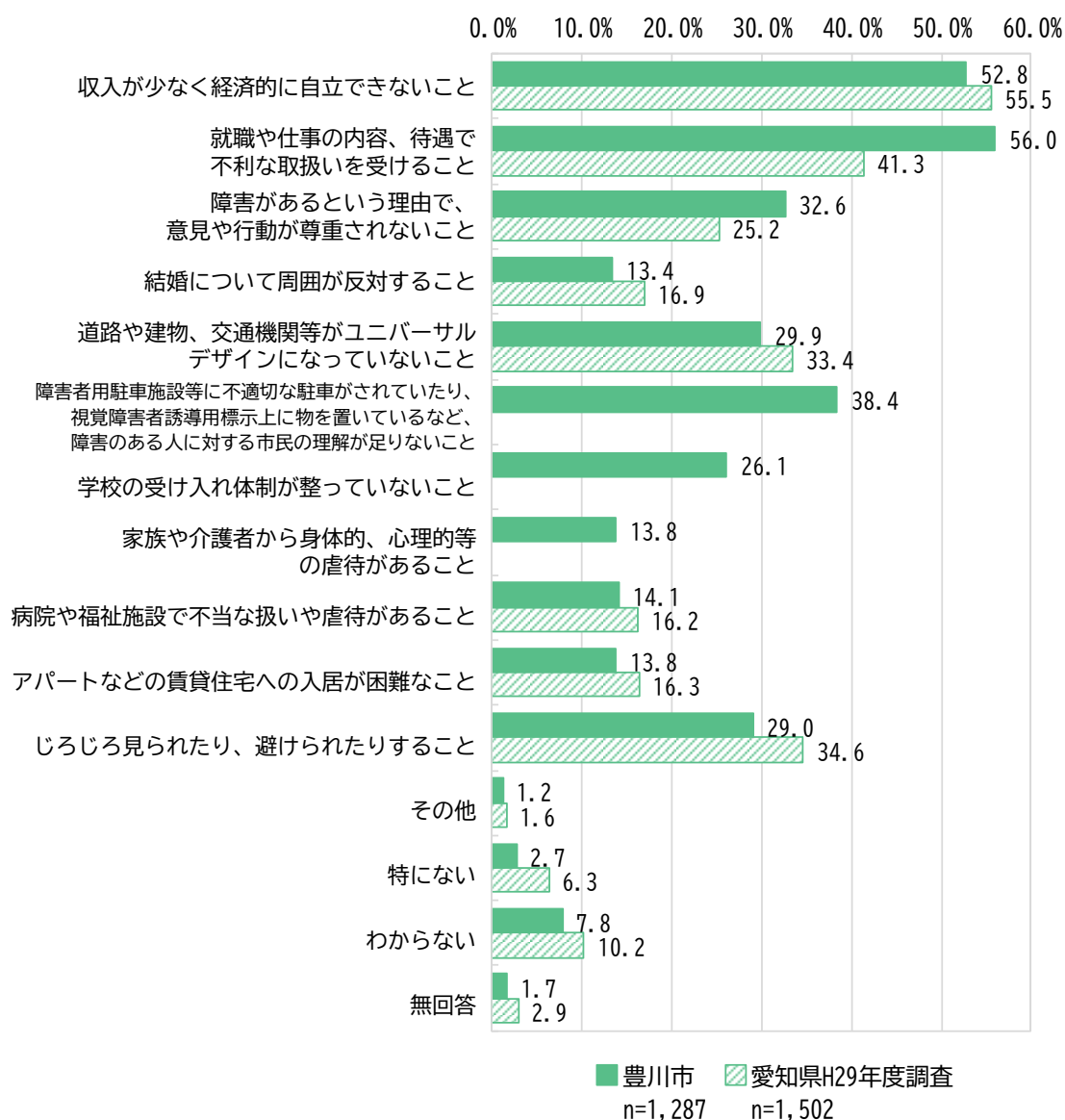
“18～29歳”で「障害があるという理由で、意見や行動が尊重されないこと」(42%以上)と「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(43%以上)、“50～69歳”で「道路や建物、交通機関等がユニバーサルデザインになっていないこと」(35%以上)が、他の年齢層よりも多くなっています。

図 6-2 障害のある人に関する人権の問題（性別・年齢別）



➤ 参考 平成 29 年度愛知県調査との比較

図 6-3 障害のある人に関する人権の問題（平成 29 年度愛知県調査との比較）



(2) 障害のある人の人権を守るために力を入れていくべきこと ……………

問 16. 障害のある人の人権が守られるために、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇印はいくつでも)

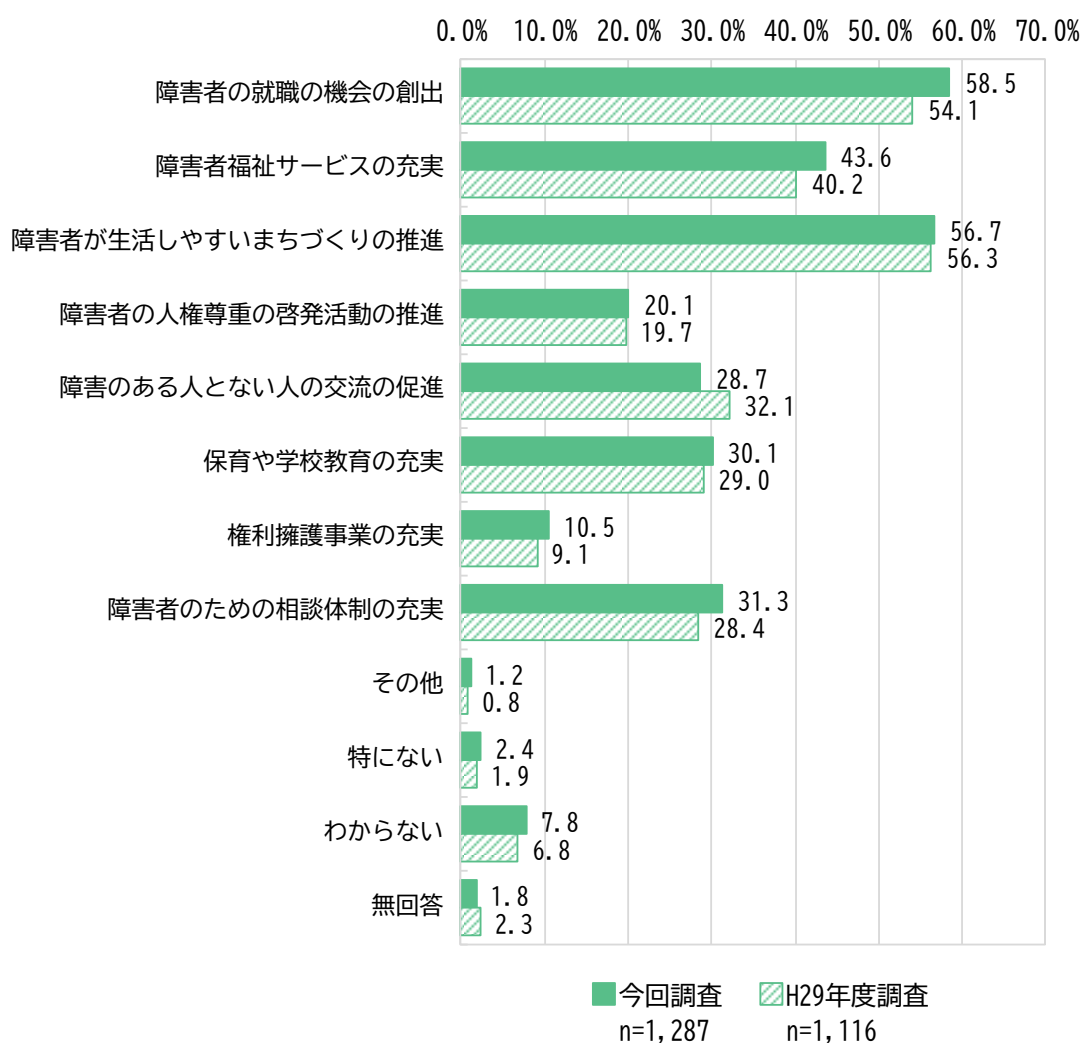
➤ 全体

「障害者の就職の機会の創出」(58.5%)と「障害者が生活しやすいまちづくりの推進」(56.7%)がほぼ並んで多く、次いで「障害者福祉サービスの充実」が43.6%となっています。

➤ 平成 29 年度調査との比較

今回の調査では、「障害者の就職の機会の創出」「障害者福祉サービスの充実」「障害者のための相談体制の充実」が平成 29 年度調査よりも若干多くなり、「障害のある人となない人の交流の促進」が若干少なくなっています。

図 6-4 障害のある人の人権を守るために力を入れていくべきこと



➤ 性別

“女性”で「障害者の就職の機会の創出」が61.4%、「障害者が生活しやすいまちづくりの推進」が60.2%、「保育や学校教育の充実」が35.4%と、“男性”より多くなっています。

➤ 年齢別

“18～19歳”で全体的に他の年齢層よりも多くなっています。

“50～69歳”で「障害者が生活しやすいまちづくりの推進」(61%以上)が、他の年齢層よりも多くなっています。

図 6-5 障害のある人の人権を守るために力を入れていくべきこと（性別・年齢別）

